

広島大学卓越大学院プログラム
「ゲノム編集先端人材育成プログラム」

履修学生選抜要項

学内特別選抜（第一次）

2026年10月入学及び2027年4月入学

2026年5月



広島大学

広島大学卓越大学院プログラム「ゲノム編集先端人材育成プログラム」

○アドミッション・ポリシー

広島大学卓越大学院プログラム「ゲノム編集先端人材育成プログラム」では、以下のような志や意欲を持ち、それに必要な基礎学力を有する学生の入学を期待する。

- ① ゲノム編集技術に対して強い学習意欲を持ち、基礎生物学、分子科学、生物機能学、環境科学、生物資源科学、生物生産科学、食品科学、生物工学、医学、薬学、歯学、保健学に関連する分野の基礎学力を備えた人
- ② ゲノム編集技術を有効に利用するためのノウハウを修得し、企業で活躍できる研究能力を身に付ける意志をもつ人
- ③ 新しい技術（改変技術やデリバリー技術）の開発力を身に付け、基幹産業の核となる革新的技術の創出を目指す人
- ④ ゲノム編集に関係する規制等の社会動向や倫理観を身に付け、新たな産業に基づく産業構造の変化に柔軟に対応できる能力の獲得を目指す人
- ⑤ 科学的論理性とコミュニケーション能力を有し、大学院での学修や研究活動を通して、高度な専門的職業人としての資質、能力の獲得を目指す人

これらの人を受け入れるため、「ゲノム編集先端人材育成プログラム」のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、書類審査、面接試験等を用いた多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

○プログラムの概要

①ライフサイエンスコースの概要

- ・1年次と2年次において、ゲノム編集の専門科目及びゲノム編集の周辺分野に関する科目を学ぶ。さらにゲノム編集基礎演習により分野ごとに必要とされるゲノム編集技術を修得する。これらの知識と技能について筆記試験及び口頭試問によって評価する（博士論文研究基礎力審査（Qualifying Examination1：QE1））。
 - ・3年次から4年次では、ゲノム編集の先端知識の修得、海外を含む連携機関での先端実習、あるいはゲノム編集先端人材育成協議会参画企業等における実践教育を実施する。
 - ・4年次終了時において、特別研究の成果が学位申請に値するかどうかの評価を行う(博士候補者試験（Qualifying Examination 2：QE2））。
 - ・学位取得に関しては、英語による査読付き論文の発表が必要となる(博士論文審査（Final Examination：FE））。
- ▶ 本コースは5年一貫の学位プログラムです。（3年次からの編入学もあります）
- ▶ 対象：4年制学部卒業生，修士課程修了生（3年次編入学の場合）

②メディカルコースの概要

- ・1年次と2年次前半において、ゲノム編集の専門科目とゲノム医療に関する科目を学ぶ。さらに、ゲノム編集基礎演習により分野ごとに必要とされるゲノム編集技術を修得する。これらの知識と技能について、筆記試験及び口頭試問によって評価する（博士論文研究基礎力審査（Qualifying Examination1：QE1））。
 - ・3年次から4年次では、ゲノム編集の先端知識の修得、海外を含む連携機関での先端実習、あるいはゲノム編集先端人材育成協議会参画企業等における実践教育を実施する。
 - ・3年次終了時において、特別研究の成果が学位申請に値するかどうかの評価を行う(博士候補者試験（Qualifying Examination 2：QE2））。
 - ・学位取得に関しては、英語による査読付き論文の発表が必要となる(博士論文審査（Final Examination：FE））。
- ▶ 本コースは4年一貫の学位プログラムです。
- ▶ 対象：6年制学部卒業生，修士課程修了生

- ※ 本プログラムを履修する学生は、所属する研究科・専攻の修了要件に加え、「ゲノム編集先端人材育成プログラム」の修了要件を満たす必要があります。
- ※ ゲノム編集先端人材育成プログラム専門科目のうち、講義科目は原則、オンラインまたはオンデマンドで受講できます。

2026年10月及び2027年4月から本学卓越大学院プログラム「ゲノム編集先端人材育成プログラム」を履修する学生を次のとおり募集します。

1. 募集人員

課程	コース名	募集人員	摘要
5年制	ライフサイエンス コース	若干名	
	ライフサイエンス コース	若干名	3年次編入学
4年制	メディカル コース	若干名	

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、「7. プログラム担当者一覧表」に記載のある教員の研究室に在籍予定の者

2-1. 出願資格（ライフサイエンスコース）

(1) 広島大学大学院統合生命科学研究科統合生命科学専攻の入学試験に合格し、2026年10月または2027年4月入学が決まっている者

なお、本プログラムの選抜に不合格の場合でも、大学院の合格は取り消されません。

(2) 広島大学大学院統合生命科学研究科統合生命科学専攻の2026年10月または2027年4月入学の入学試験に出願している者

ただし、上記入学試験に不合格となった場合は出願資格を失います。

※ 統合生命科学研究科（博士課程後期）社会人特別入試短期修了コースの志願者及び合格者は本コースに出願できません。

2-2. 出願資格（メディカルコース）

(1) 広島大学大学院医系科学研究科医歯薬学専攻の入学試験に合格し、2026年10月または2027年4月入学が決まっている者

なお、本プログラムの選抜に不合格の場合でも、大学院の合格は取り消されません。

(2) 広島大学大学院医系科学研究科医歯薬学専攻の2026年10月または2027年4月入学の入学試験に出願している者

ただし、上記入学試験に不合格となった場合は出願資格を失います。

3. 出願手続

志願者は、自らが希望する活動が本プログラムに適しているか及び希望研究内容等について事前に主任指導教員に相談し、プログラム出願の許可を得てください。

(1) 出願期間

2026年7月29日(水)から2026年8月4日(火)午後5時まで(必着)

受付時間は、午前8時30分から午後5時までです。

(2) 出願書類等

書類の名称	摘 要
履修志願票	所定の様式を使用してください。【注】参照
履歴書	所定の様式を使用してください。【注】参照
研究計画書	所定の様式を使用してください。【注】参照 プログラム入学後の研究計画を2枚以内で記載してください。図や表を挿入しても構いません。
広島大学大学院の 受験票又は合格通 知書の写し	広島大学大学院から受領した受験票の写しを提出してください。すでに 広島大学大学院に合格している方は、合格通知書の写しを提出してくだ さい。いずれも出願期間内に提出できない場合は、「6. 照会及び出願書 類等の提出先」へご連絡ください。
入学検定料	不要です。

【注】履修志願票、履歴書及び研究計画書は、ゲノム編集先端人材育成プログラムのホームページに掲載している様式をダウンロードしてください。

URL : <https://genome.hiroshima-u.ac.jp/recruitment/index.html>

(3) 出願書類等の提出

① 提出方法

出願期間内に、持参又は郵送（簡易書留郵便など、配達記録が残る方法に限る。）で提出してください。郵送による場合は、封筒表面に「プログラム出願書類在中」と朱書してください。

出願書類等が出願期間内に届かない場合及び出願書類等に不備がある場合は、受理しません。

② 提出先 「6. 照会及び出願書類等の提出先」参照

(4) その他

① 受付後の記載内容の変更は、認めません。

② 出願書類等は、返還しません。

③ 出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等)は、本選抜及び合格通知並びに履修手続を行うために利用します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。なお、コンピューター処理をするため、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、関連業務を外部の事業者へ委託することがあります。

④ 広島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。それにより、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

4. 選抜方法及び合格者発表

(1) 選抜方法

学力検査（書類審査及び口述試験）を実施し、その結果を踏まえて、総合的に選考します。

(2) 学力検査

出願書類に基づく書類審査及び専門分野、英語能力等に関する口述試験（※）を行います。

口述試験日：2026年8月26日(水)

（予備日：2026年8月27日(木)）

※ 口述試験

- ・口述試験はオンライン（ZOOM）で実施し、概ね15分で日本語または英語で行います。
- ・時間などの詳細は、後日、志願者に個別に連絡します。

試験日以前に接続テストを行います。志願者はインターネット環境が整った静かな個室を確保してください。

(3) 合格者の発表：2026年9月24日(木)午前10時(予定)

プログラムのホームページに掲載し、合格者には郵送により通知します。なお、電話等による照会には、原則として応じません。

URL：<https://genome.hiroshima-u.ac.jp/>

5. 修学上の経済支援について（※1）

所属の課程における標準修業年限内の本プログラム履修学生（以下「学生」という。）に対して、次の(1),(2),(3),(4)の支援を行うことを決定しています。

- (1) 入学後の学業成績及び在学中の学術活動成果等における顕著な業績があると認められる学生に対して、選考の上、3名を上限として一人当たり月額5万円を半年間支給します。（選考時期等については、入学後、別途周知します。）（※2）
- (2) ライフサイエンスコースの3年次以降及びメディカルコースの学生に対し、授業料を全額免除します（成績等により非該当の場合有り。）。（※2）
- (3) 希望者には、池の上学生宿舎を入学直後から2年間、優先的に提供します。（寄宿料・共通経費（月額6,700～16,200円程度）及び光熱水料は別途必要。入居期間は宿舎フロアリーダーを務め、宿舎運営への協力を誓約する場合、または家計状況が急変した場合に1年単位で延長申請可。）

（池の上学生宿舎）URL：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/shien/jyuukyo/gakuseisyukusya>

※上記のほか、大学の住居支援として大学指定下宿があります。（東広島キャンパスのみ）

（大学指定下宿について）URL：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/shien/jyuukyo/shitei>

- (4) 学生の海外における研究活動に必要な旅費（交通費、日当、宿泊料等）を本プログラムが認める範囲で支援します。（詳細は、入学後、別途周知します。）（※2）

- ※1 2026年5月1日現在のものであり、今後、変更が生じる場合があります。
※2 2028年3月末に終了を予定しています。2028年4月以降の支援は未定です。

上記支援のほか、本学は、大学院生を対象とした以下の支援を実施しています。

- ・広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)

URL : <https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/nextgeneration>

- ・広島大学女性科学技術フェローシップ制度

URL : https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/diversity_stem

- ・広島大学グローバル博士フェローシップ制度

URL : <https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/globaldoctoralfellowship>

- ・大学院生のための国際学会発表支援 (詳細は各研究科のホームページをご覧ください。)

※ ホームページは適宜更新されますので、定期的に確認してください。

6. 照会及び出願書類等の提出先 (出願等に際して不明な点があれば、下記へ照会してください)

広島大学教育室コラボレーションオフィス

〒739-8514 東広島市鏡山1-7-1 (学生プラザ3階)

Tel : 082-424-6819 E-mail : leading-program@office.hiroshima-u.ac.jp

電子メールでのお問い合わせの際には、件名に「ゲノム編集先端人材育成プログラム (あなたのお名前) 出願について」と書いてお送りください。

7. プログラム担当者一覧表

志願者は、必ず出願前に、自らが希望する活動がプログラムに適しているか及び希望研究内容等を主任指導教員に相談し、了承を得て出願してください。

- (1) プログラム担当者一覧表は2026年5月1日現在のものであり、変更が生じる場合があります。
- (2) 本プログラムを履修する学生は、所属する研究科・専攻の修了要件に加え、「ゲノム編集先端人材育成プログラム」の修了要件を満たす必要があります。
- (3) 「※」を付している教員の指導を希望する場合は、必ず出願前に「6. 照会及び出願書類等の提出先」へご連絡下さい。

【ライフサイエンスコース】

氏名	職名	現在の専門	所属する研究科・専攻の 修了要件プログラム
山本 卓	教授	ゲノム生物学	数理生命科学プログラム または 生命医科学プログラム
坊農 秀雅	教授	ゲノム情報科学	数理生命科学プログラム または 生命医科学プログラム
坂本 尚昭	准教授	分子生物学	数理生命科学プログラム または 生命医科学プログラム
杉 拓磨	准教授	システム行動学	数理生命科学プログラム または 生命医科学プログラム
坂本 敦 (2030年3月 退職予定)	教授	植物分子, 生理科学	数理生命科学プログラム
島田 裕士	准教授	植物分子細胞生物学	数理生命科学プログラム
上野 勝	准教授	分子細胞生物学	生物工学プログラム または 生命医科学プログラム
藤江 誠	准教授	植物細胞生物学	生物工学プログラム
堀内 浩幸 (2029年3月 退職予定)	教授	動物細胞工学, 免疫生物学	食品生命科学プログラム
矢中 規之	教授	分子栄養学	食品生命科学プログラム
中江 進	教授	免疫学	食品生命科学プログラム
田中 若奈	准教授	植物発生遺伝学	食品生命科学プログラム
松崎 芽衣 (※)	助教	動物生産科学	食品生命科学プログラム
生谷 尚士	准教授	免疫学	食品生命科学プログラム
佐藤 明子	教授	細胞生物学	生命環境総合科学プログラム
浮穴 和義	教授	神経内分泌学	生命環境総合科学プログラム または 生命医科学プログラム
和崎 淳	教授	植物栄養学	生命環境総合科学プログラム または 生物資源科学プログラム
岩越 栄子	特任准教授	適応生理学	生命環境総合科学プログラム
今村 拓也	教授	RNA 生物学, エピゲノム学	基礎生物学プログラム または 生命医科学プログラム
千原 崇裕	教授	神経遺伝学	基礎生物学プログラム または 生命医科学プログラム
萩野 肇	教授	発生生物学, 進化生物学	基礎生物学プログラム または 生命医科学プログラム
林 利憲	教授	再生生物学, 発生生物学	基礎生物学プログラム または 生命医科学プログラム
濱生 こずえ	准教授	細胞生物学	基礎生物学プログラム または 生命医科学プログラム
田川 訓史	准教授	進化発生学	基礎生物学プログラム

【メディカルコース】

氏名	職名	現在の専門	所属する研究科・専攻の 修了要件プログラム
安達 伸生 (2028年3月 退職予定)	教授	膝関節外科	医学専門プログラム
大段 秀樹 (2028年3月 退職予定)	教授	外科学, 消化器外科, 移植, 免疫	医学専門プログラム
岡田 賢	教授	免疫学	医学専門プログラム
外丸 祐介	教授	生殖・発生工学	医学専門プログラム
丸山 博文	教授	脳神経内科学	医学専門プログラム
保田 朋波流	教授	免疫学	医学専門プログラム
宿南 知佐	教授	分子生物学	歯学専門プログラム
谷本 幸太郎	教授	歯科矯正学	歯学専門プログラム
紙谷 浩之 (2029年3月 退職予定)	教授	生物系薬学, 医療系薬学	薬学専門プログラム
野村 渉	教授	化学系薬学, 生体関連化 学	薬学専門プログラム
神沼 修	教授	実験動物学・免疫学	放射線医科学専門プログラム

8. キャンパス内全面禁煙について

広島大学は、キャンパス内全面禁煙になっています。